

# ホクコーパンチャー® 1キログラム粒剤

■種類名	フェントラザミド・ベンゾフェナップ・ベンフレセート粒剤
■有効成分	フェントラザミド-----3.0%
	ベンゾフェナップ-----8.0%
	ベンフレセート-----5.0%
■PRTR法指定物質	フェントラザミド[第1種]-----3.0%
	ベンゾフェナップ[第2種]-----8.0%

■登録番号	第21864号
■毒性	普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年	2006.12.27
■性状	類白色細粒
■有効年限	3年
■包装	1kg x 12袋 4kg x 4袋(北海道のみ)

## 【特長】

- ノビエ2. 5葉期までの処理で各種雑草に安定した効果を発揮する一発処理除草剤。
- 難防除雑草のオモダカ、クログワイに高い効果を発揮する。
- SU抵抗性雑草に高い効果を示す。

## 【適用内容】(2018年9月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ、クログワイ エゾノサヤヌカグサ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	1kg /10a	1回	湛水散布 又は 無人ヘリコプターに よる散布

フェントラザミドを含む 農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む 農薬の総使用回数	ベンフレセートを含む 農薬の総使用回数
1回	2回以内	2回以内

## 【効果・葉害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエ2. 5葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果が異なるので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、オモダカ、クログワイは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。オモダカ、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないのに必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用する。
- 苗の植え付けが均一となるように代かきを丁寧に行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行うこと。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。
- ノビエ多発田では移植後早めに散布すること。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
  - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
  - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
  - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整すること。
  - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- 本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 【安全使用上の注意】

- ※ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

- ❖ 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。  
作業後はうがいをすること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。  
無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。  
水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用すること。  
散布後は水管理に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。